

0才まで行った方最後の退行催眠内観導入法

【音声開始】⇒ それでは、最初は、目を、開けて置いて、聞いていて下さい。

【第三者のメとは】

常に、中道・中庸なる目を、持つ事が大切です。

中庸・中道とは、何事にも偏らず、極端を避け、本質や根源に、迫る生き方・考え方の事です。

これが、神様・ホトケ様の心です。

つまり、赤の他人の、言動を見て、

「こうした方が良いのにな」

と、判断する自分の事です。

他人を、冷静に見る事が出来る、自分の、目の事です。

この事を、第三者のメと、言います。

よって、常に、自分を、中道なる、言動が、できるように、第三者の目で、見つめ直して、いなければ、いけません。

【内観とは】

自分で、自分を見つめ、中庸・中道なる目で、自分の過去を、

見つめ直す、この行為を内観と言います。

人間が、死んだ時、絶対に通らなければ、天界に逝く事ができない、通過点があります。

それが、内観です。

天界に逝くには、中庸なる目で、現世、コンジョウの反省を、しなければなりません。

生きている内に、繰り返し、内観をする事によって、貴方の精神は、落ち着き、穏やかとなり、まさしく、神様・ホトケ様のように、何もかも、見通せるようになります。

常に、貴方の心は、毎日、第三者の目に、なっている筈です。

それでは、退行催眠内観法を、始めて行きますが。

何も深い理論は、要りません。

頭の中を、カラにして、私と同じ、手の動きをして下さい。

手のひらと、手のひらを、合わせて、人差し指だけ、真っ直ぐに伸ばし、手のひらを組みましょう。

組むと、人差し指同士が、くっ付かないように、人差し指に、力

をいれて下さい。

しかし、段々～段々と、人差し指同士が、くっ付いて来ます。
貴方は、人差し指に力を入れ、指に集中して、指と指が、くっ付かないように、力を入れますが、段々～段々と、くっ付いて、しまいます。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

それでは、人差し指、同士がくっ付いた人は、ゆ～くり、目を閉じて下さい。

目を、閉じましたか。

あなたは、段々～、段々～、眠くなる。

あなたは、段々～、段々～、眠くなる。

あなたは、段々～、段々～、眠くなる。

貴方は、全身の力も、ス〜ッカリと抜け、安らかな、気持ちとな
って、フワフワと、宇宙空間に浮き、気持ちよく眠り、漂ってい
ます。

この前と、同じように、中道なる目、第三者の目、正しい生活の、
基本となる、ハッシュョウドウを、教えます。

中道なるメとは、赤の他人の、言動を見て、
「こうすればいいのにな。」

と、冷静なメで、判断できる、自分の事です。

この事を、第三者のメで見る。

と、いいます。

貴方の根源なる心は、日々の生活の中で、常に、中道なる第三者
のメとなり、話すときも、行動を起こすときも、全ての物事を、
第三者のメで、判断をして、行動し、生きてゆきます。

次は、正しい生活の基本、ハッシュョウドウを教えます。

一、私は、全ての、物事を、正しく、見ます。
(この事を、ショウケンと言います。)

二、私は、全ての事を、正しく、思います。

(この事を、ショウシユイと言います。)

三、私は、正しい、言葉を、正しく、使います。

(この事を、ショウゴと言います。)

四、私は、全ての事に、正しく、対処し、正しく、仕事をします。

(この事を、ショウギョウと言います。)

五、私は、正しい、生活をして、自分の命を、大切に、生きます。

(この事を、ショウミョウと言います。)

六、私は、全ての事に、正しい、努力をし、精進して、生きます。

(この事を、ショウショウジンと言います。)

七、私は、全ての、物事に対し、正しく、思慮し、気付き、心の中で思い、正しい念を、送ります。

(この事を、ショウネンと言います。)

**ハ、私は、正しく、精神統一し、正しく心を、安ら
かせて、集中し、反省します。
(この事を、ショウジョウと言います。)**

ハッショウドウの、七、八、これは、瞑想の事です。

瞑想とは反省です。

反省には、第三者の目が必要です。

中庸の心、中道の心、第三者の目を、知らない人が、幾ら反省し
ようとも、正しい反省、正しい瞑想は、できません。

七で、正しい念を送ります。

八は、まさしく、瞑想、全体の行為です。

貴方は、完全に、ハッショウドウを、理解しています。

貴方が、心に刻んだ、正しい生活の、根源は、八つの道、ハッシ
ョウドウです。

ハッショウドウで、絶対に、やっては、いけない事を、教えます。

嘘を、言わない事。

むだばなしを、話さない事。

二枚ジタを、使わない事。

二枚ジタとは、人、それぞれに、相反することをいって、仲違いさせる、言葉などの、事です。

粗暴な言葉を、使わない事。

人を、あしざまに、ののしる事を、言わない事。

悪い行いを、しない事。

三毒を、言わない事。

三毒とは、

一、物欲、名誉欲など、際限のない、欲などの、むさぼりの心を、もたない事、言わない事。

二、腹立ち、憎しみ、恨みの、感情などの、怒りの心を、もたない事、言わない事。

三、物事を、正しく、判断できないこと、無知や無明のこと、愚かな心を、もたない事、言わない事。

以上を守り、ハッシュドウを正しくおこなってれば、生命の殺生を、故意にしなくなります。

人の物を、故意に盗まなくなります。

ふしだらな行為を、しなくなります。

ウソ、偽りを、言わなくなります。

心にもない、綺麗ごとを、言わなくなります。

人の悪口を、言わなくなります。

信用を失うことを、言わなくなります。

モノオしみせず、欲ばらなく、なります。

人に怒り、人を憎まなくなります。

ゴウ・因果・エング・輪廻の、間違った考え方を、しなくなります。

以上、ハッシュョウドウについて、説明を終わります。

さて、貴方は、全身の力が、ス～カリと抜け、安らかな、気持ち
となって、何もない、宇宙空間に、フワフワと浮き、気持ちよく、
漂いながら、眠っています。

貴方は、さらに、深い眠りに、落ちて～ゆきます。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

～。

それでは、ゆ〜くりと、貴方の回りを見て下さい。

この前、地下に降りて行った、階段がなくなっています。

貴方は、もう階段が、無くても、自由自在に、反省しなければ、いけない時代に、さかのぼり、反省をする事が出来ます。でも、現在の年から一年、一年と、過去に帰って、反省をして、行って下さい。

何回でも繰り返し反省する事が大切です。

通常、内観法は、覚醒中に、瞑想をしながら、行うものです。

今日で、退行催眠内観法は終わりです。

これから、貴方は、退行催眠内観法に、たよらなくても、内観法をおこなって、いける実力は付いています。

身近な人の、反省はすみしましたか？

祖父・祖母・父・母・兄弟・姉妹・自分の伴侶はすみしましたか？

次に、いとこ・友人・知人・隣人・仕事関係の、縁のあった人の反省は済みしましたか？

済んでいなければ、反省しなければなりません。

第三者の目で、自分自身の、周りの人の、反省を、して行きます。

反省する事で、自分の過去の、全ての、人に関する、反省が、終

了しました。

全ての、人の、反省が、終了しますと、反省が、終了した、にもかかわらず、悲しくもないのに、なんでこんなに、涙が出てくるのだらうと思う程、自然と涙が、心の底から、あふれ出して、とめどなくでてきます。

それは、正しい感情から、湧き出る、ものであって、何ら恥ずかしい事では、ありません。

あふれ出てくる感情を、思いっきり、出し切ってください。

それは、神様・ホトケ様の感情であり、中道の心の感情です。

涙が、自然と、あふれ出てきた人は、神様・ホトケ様の心をもったというあかしです。

貴方は、これから、幽体、離脱などの、色々な、不思議な体験を、していきます。

これらの、現象が、起きた場合は、怖がらずに、経験して下さい。

幽体、離脱した場合は、行きたい場所に、行っても構いません。

守護霊が、貴方を、見守ってくれていますから、どこを飛び回っても構いません。

カラダに帰ろう、と思えば、直ぐに帰れますので、恐れずに、天井を、すり抜けて下さい。

そのまま、自分の街を、一周して、帰って来ましょう。

何事も経験です、大きな一步を、踏み出して下さい。

怖いと思えば、二度と、幽体、離脱は、出来なく、なりますので、絶対に、恐れない事です。

守護霊は、見えなくとも、貴方の傍で、常に守って、います。

感謝の言葉を、忘れずに、守護霊からの返事はなくとも、守護霊に、ありがとうございました。と話し掛けて下さい。

これらの体験、起きた場合には、私に報告して下さい。

適切な、アドバイスを、致します。

瞑想は、禅を組む、必要はありません。

真っ直ぐに、仰向けに、寝ていても、構いません。

眠る前に、今日の反省をして下さい。

いちにち、いちにちの反省を、第三者の目で、反省して、行して下さい。

これから、正しい瞑想を、毎日、繰り返し、死ぬまで、おこなって、いきましょう。

それでは、退行催眠内観法は、これで終わりです。

これからの内観法は、覚醒中に、おこなって下さい。

貴方は、私が、手のひらを、2回叩くと、カラダの疲れも、なくなり、心の迷いも、す～っかり消えて、最高の気分で、ゆ～っく

りと、目を覚まします。**【音声終了】**

手のひらを2回叩く。